

三一七一番

難波なにはがた漕こぎ出づる舟ふねの はろはろに 別わかれ来きぬれ  
ど 忘わすれかねつも

三一七二番

浦廻うらみこ漕こぐ 熊野舟くまのぶねつ着つき めづらしく かけて思おもは  
ぬ 月つきも日ひもなし

三一七三番

松浦舟まつらぶね 騒さわく堀江ほりえの 水脈み速はやみ 梶かちと取とる間まなく  
思おもほゆるかも

三一七四番

いざりする 海人あまの梶かぢの音おと ゆくらかに 妹いもは心こころ  
に 乗のりにけるかも